

まちづくり交付金 事後評価シート
鉄輪温泉地区




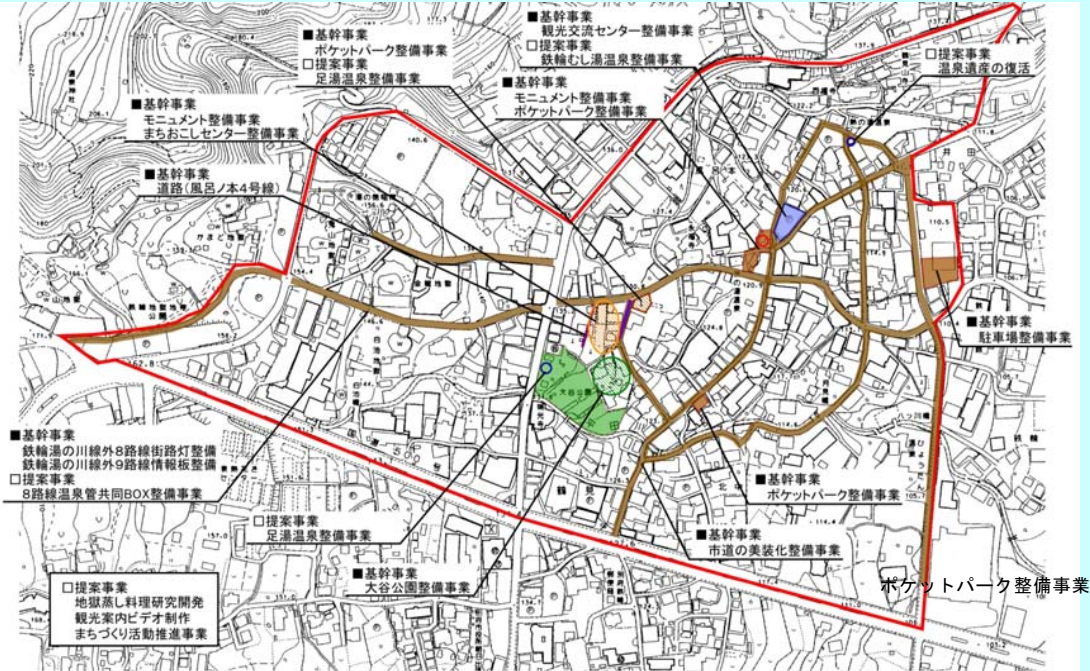



平成21年12月

大分県別府市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大分県	市町村名	別府市	地区名	鉄輪温泉地区			面積	24.2ha			
交付期間	平成17年度～平成21年度	事後評価実施時期	平成21年度	交付対象事業費	1,427百万円	国費率	0.399					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
	基幹事業	大谷公園整備、地域生活基盤施設(情報板整備、むし湯ポケットパーク整備)、高次都市施設(観光交流センター整備)、高質空間形成施設(市道の美装化、街路灯整備、モニュメント整備)										
	提案事業	地域創造支援事業(温泉遺産の復活、湯けむり景観まちづくり計画の策定、鉄輪温泉地区温泉管共同BOX整備、鉄輪むし湯温泉整備)、事業活用調査(市民意向調査)、まちづくり活動推進事業(鉄輪温泉から全国へPR戦略)										
	当初計画から削除した事業		事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	基幹事業	なし	-			-						
	提案事業	なし	-			-						
新たに追加した事業	基幹事業	道路(風呂ノ本4号線の拡幅)、地域生活基盤施設(駐車場整備、湯けむり通りポケットパーク整備、いでゆ坂ポケットパーク整備)、高質空間形成施設(大平井4号線、野口原実相寺公園道路線)、高次都市施設(まちおこしセンター整備)			道路の拡幅、整備効果向上と高質空間形成施設の整備効果向上を目的として追加			指標1、4に関連するが影響は軽微のため数値目標は据え置く				
	提案事業	地域創造支援事業(地獄蒸し料理研究開発、観光解説案内ビデオ制作、大谷公園足湯整備、いでゆ坂ポケットパーク足湯整備)			観光地のPR活動や地区内の回遊性の向上を図り、観光客数の増加を図るために追加			指標1、4に関連するが影響は軽微のため数値目標は据え置く				
交付期間の変更	当初	平成17年度～21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			なし					
	変更	なし										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値 基準年度	目標値 目標年度	数値 モニタリング 評価値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
	指標1	鉄輪温泉地区の観光客数	人/年	2,980,000	H15	3,200,000	H21	3,010,808	△	あり なし	観光動態によると、観光客は事業実施前の平成15年～17年にかけて急激に減少したため、目標達成には至らなかったが、平成22年には目標達成の見込みがある。また、平成17年以降の観光客の増加は、事業効果によるものと考えられることから、事業による一定の効果があったと判断できる。	平成23年8月
	指標2	湯けむり散歩の参加者数	人/年	950	H15	1,050	H21	1,750	○	あり なし	湯けむり散歩の開催が不定期であったため、参加者数が大きく増減していたが、定期開催となったことで一定の参加者が見込まれる。	平成23年8月
	指標3	むし湯温泉の入湯者数	人/年	20,000	H15	26,000	H21	32,500	○	あり なし	入湯者数は、改修直後から大幅に増加し、著しく事業の効果が現れた。	平成23年8月
	指標4	通りの歩行者数	人/12h	4,470	H16	4,900	H21	5,000	○	あり なし	前回の調査と比べ、みゆき坂の歩行者数は減少したが、いでゆ坂の歩行者数が大幅に増加しており、地区内の回遊性が向上した。	平成23年8月
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値 基準年度	目標値 目標年度	数値 モニタリング 評価値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 市道の美装化によって鉄輪温泉地区内を散歩する人が増えたとの報告がある。 まちづくりへの地元団体の参加によって、地区の特性や要望に沿った事業を実施することが可能となり、観光地における地元住民や事業者、行政が一体となって観光振興を進めるまちづくりのモデルを構築することができた。 湯けむり散歩の定期開催が行われるようになるなど、地区内事業者のまちづくり活動への意識向上が見られ、観光振興に対する官民連携がとれつつある。 											
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況			今後の対応方針等					
	モニタリング	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス	<ul style="list-style-type: none"> 市道整備、温泉管共同BOX、街路灯、サイン設置検討委員会(※2) むし湯温泉建替え検討委員会(※2) 大谷公園、ポケットパーク、モニュメント整備検討委員会(※2) 湯けむり景観保全・街並みデザイン検討委員会(※1) 鉄輪温泉地区まちづくり整備事業受入協議会(※2) 鉄輪温泉地区内におけるまちづくり交付金についてのアンケート調査の実施(※2) 			都市再生整備計画に記載し、実施できた			●※1				
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			●※2				
持続的なまちづくり体制の構築	まちづくり交付金の実施において鉄輪温泉地区まちづくり整備事業受入協議会を設立し、協議を行いながら事業を推進			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● 事業後も地区内のまちづくりの検討を行う組織として協議会を存続させる。					

様式2-2 地区の概要

鉄輪温泉地区(大分県別府市) まちづくり交付金の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標:ふれあいと情緒ある温泉街の賑わいを再生し、うるおいに満ちた湯けむりたなびく交流型観光地の創造 目標1:人的交流を活発化し賑わいのある観光拠点を整備する。 目標2:地域特性を活かした景観形成に取り組み、街全体が観光資源となる環境を整備する。 目標3:来訪者が安心して路地裏、湯けむり散策が楽しめる環境を整備する。		鉄輪温泉地区の観光客数	人	2,980,000	H15	3,200,000	H21	3,010,808	H21
		湯けむり散歩の参加者数	人	950	H15	1,050	H21	1,750	H21
		むし湯温泉の入湯者数	人	20,000	H15	26,000	H21	32,500	H21
		通りの歩行者数	人	4,470	H16	4,900	H21	5,000	H21
 <p>鉄輪むし湯温泉整備事業</p>  <p>市道の美装化整備事業</p>  <p>まちおこしセンター整備事業(完成見込み)</p>				 <p>ポケットパーク整備事業</p>  <p>情報板設置事業</p>  <p>大谷公園整備事業</p>					
まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい魅力づくりが課題であったが、地区内の住民や業者と行政が一体となってまちづくりに取り組み、観光地としての魅力アップにつながった。 ・平成17年以降は減少傾向から増加傾向を示したが、目標の観光客数には至っていない。 ・地区内の道路の歩きやすさと安全性の確保が課題であったが、市道の美装化、案内板やポケットパークの整備によって、歩行者の歩行性が向上した。 ・市道の美装化により、視覚的に車道と歩道が区分されたが、地区内に流入する車の増加が見込まれ、車の走行速度が上昇し、交通安全上の問題がある。 								
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き住民と業者との話し合いの場を設け、今後のまちづくりや観光地としての魅力アップに取組む。また、市民と一緒に創り上げた施設等に関しては、施設の活用や維持管理について今後も検討を行っていく。 ・歩いて楽しい空間づくりに努め、観光客の増加傾向を維持するため、リピーターの確保を目指す。観光客のニーズに応じた観光戦略の検討を行う。 ・地区内の散策者を今後も増やしていくための対策を実施する。 ・観光客の新規開拓を図るため、まちの魅力をアピールする。 ・核施設であるむし湯温泉とまちおこしセンターの連携を図り、相乗効果によって、観光客の増加を目指す。 ・歩行者の歩行性、安全性を確保する。 ・地区内流入する車対策として、駐車場の利用促進や車の走行速度の抑制についての対策を検討する。 								